

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立 北波多小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国・県学習状況調査やC R Tの結果から学年において達成状況に差が生じ、「学力の向上」はまだ十分とは言えない。今後は、児童の達成状況に応じた補充の時間を確保し、基礎学力・活用力の定着と学力向上の取組を強化する必要がある。さらに協働的な学びを取り入れた授業づくりをより一層推進し、主体的・対話的な学びを深めていきたい。</li> <li>・児童の自己肯定感、自己有用感、他者尊重の気持ちを育てる「心の教育」の活動をさらに充実させたい。</li> <li>・「業務改善・働き方改革」については、課題が残った。一人一人の「働き方改革」への意識を高めることが大切である。業務改善は進んできているが、さらにもう一歩進め、教材研究や研修の時間を生み出せるようにしたい。</li> </ul>
2 学校教育目標	「笑顔」の子どもづくり！～自己肯定感を高める教育を通して～
3 本年度の重点目標	①基礎・基本の確実な定着と学力の向上 ②人権教育の充実 ③業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	達成度 (評価)
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	A
	○「書く活動」の充実	○国語、算数を中心に、「書く活動」を取り入れた割合が70%以上	A
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○集団の中で積極的に活動したり協力したりできた児童85%以上	B
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学級が楽しい」と感じる児童85%以上 ○Q-Uにおける学校生活満足群を前年度よりも増やす。	B
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○キャリアパスポートの有効活用ができたと回答した教師85%以上	B
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●健康に食事は大切である」と考える児童生徒95%以上	B
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	A

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	達成度 (評価)
○安全教育の充実	○児童・職員の危機管理意識の向上	○「安全に気をつけて生活ができている」と感じる児童85%以上	B
○地域や家庭との連携	○開かれた学校づくり	○学校評価アンケートで「保護者、地域と連携できている」肯定的評価85%以上	B
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	B

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学力の向上」では、アクションプランや校内研を活用した授業づくりの見直しや、授業の中で「書く活動」の位置づけが定着したこともあり、児童の学力も向上しつつある。今後は、小中連携での取組の研究やタブレット活用により更なる向上を図りたい。</li> <li>・本年度もコロナ禍のため、予定していた活動は十分にできなかったが、感染対策を取りながらできる限りの行事や活動を行ってきた。全ての項目で「概ね達成できた」(B評価)以上の結果となった。職員で共通理解のもと自己肯定感を高める活動や工夫した教育活動に取り組んだ成果とも言える。今後も効果的な教育活動が図れるように、共通理解・共通実践に努めていきたい。</li> <li>・来年度もコロナ禍の中での教育活動が予想されるが、本校の宝である「学校ボランティア」等の活用も推進しながら、教科横断的な教育活動ができるように努めていきたい。</li> </ul>
----------------	--